

3 工業用水道事業の業務状況

(1) 事業の概要

工業用水の安定的な供給を通じて本県の工業振興に寄与するため、次の2事業を行っています。

事業名	給水開始	給水先
彦根工業用水道事業 給水能力 48,500 m ³ /日	昭和 46 年 5 月	彦根市、多賀町に立地する企業 14 社
南部工業用水道事業 給水能力 74,400 m ³ /日	昭和 43 年 5 月	守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、竜王町に立地する企業 45 社

○給水状況

①彦根工業用水道事業

平成 29 年度下半期の基本水量は、14 社合計 32,252 m³/日で、前年度同期に比べ 30 m³/日 (0.1%) 増加しました。

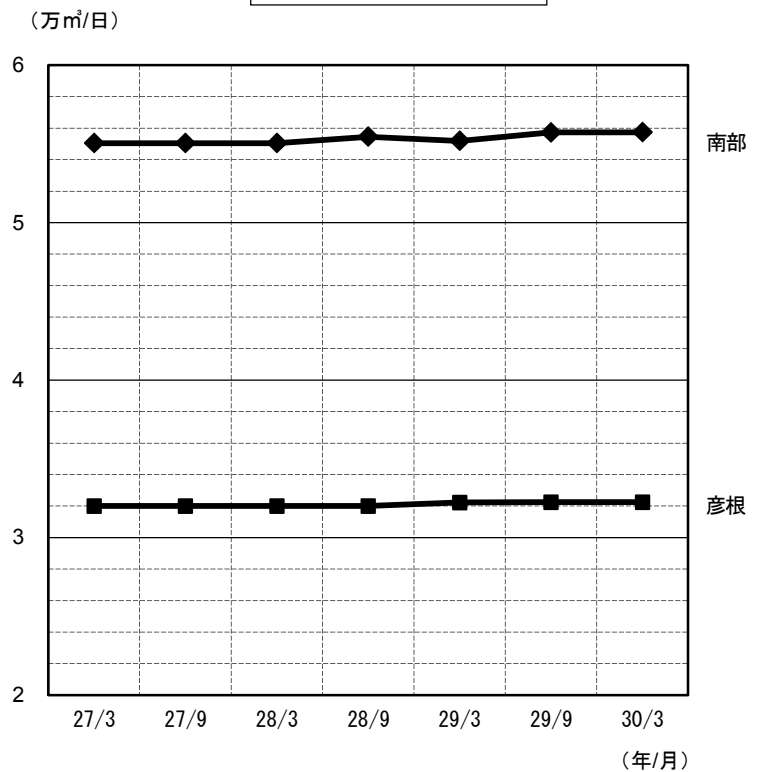
②南部工業用水道事業

平成 29 年度下半期の基本水量は、45 社合計 55,736 m³/日で、前年度同期に比べ 548 m³/日 (1.0%) 増加しました。

○建設改良事業の状況

平成 29 年度下半期は、高宮低区配水池等水位計更新工事や南部工業用水湖南団地ライン管路更新設計業務等を上半期に引き続き実施しました。

近年の基本水量の状況



(2) 経理の状況

○予算の補正の状況

平成 30 年 2 月定例会議において、事業収益については給水収益の増加等により 41,440 千円の増額補正を、事業費用については業務費の減少等により 14,678 千円の減額補正を行いました。また、資本的収入については工事費の減少等により 2,771 千円の減額補正を、資本的支出については企業債償還金の増加等により 115,039 千円の増額補正を行いました。

○平成 29 年度予算の執行状況

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの予算の執行状況は、次のとおりです。

●収益的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当) 額	補正予算額	予算現額 (A)	執 行 額 (B)	(B)/(A) %
工業用水道事業収益	1,280,900	—	41,440	1,322,340	1,325,690	100.3
営 業 収 益	1,163,517	—	23,045	1,186,562	1,189,791	100.3
営 業 外 収 益	117,383	—	18,395	135,778	135,899	100.1
工業用水道事業費用	1,132,800	—	△ 17,301	1,115,499	1,104,343	99.0
営 業 費 用	1,072,214	—	△ 45,543	1,026,671	1,020,318	99.4
営 業 外 費 用	60,586	—	8,210	68,796	65,945	95.9
特 別 損 失	—	—	20,032	20,032	18,080	90.3

●資本的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当) 額	補正予算額	予算現額 (A)	執 行 額 (B)	(B)/(A) %
資 本 的 収 入	97,100	—	△ 2,771	94,329	94,330	100.0
諸 収 入	97,100	—	△ 2,771	94,329	94,330	100.0
資 本 的 支 出	129,000	—	114,867	243,867	241,366	99.0
建 設 改 良 費	91,078	—	△ 36,409	54,669	52,170	95.4
企 業 債 償 還 金	36,674	—	151,747	188,421	188,420	100.0
固 定 資 産 購 入 費	1,248	—	△ 471	777	776	99.9

(注) 1 補正予算額は、平成 29 年 11 月定例会議および平成 30 年 2 月定例会議における補正予算額の合計額です。

2 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

○決算の状況

①損益収支

事業収益は、受託工事収益の減少等により、対前年度比 5.4%減少の 1,237,530 千円となりました。一方、事業費用は、受託工事費の減少等により、対前年度比 5.5%減少の 1,019,361 千円となりました。この結果、純利益は、前年度より 11,912 千円減少し、218,169 千円となりました。

●比較損益計算書

(単位 千円)

科 目	平成 29 年度 決算額 (A)	平成 28 年度 決算額 (B)	比 較 増 減		
			(A)-(B)	(A)/(B) %	
工業用水道事業収益	1,237,530	1,308,338	△	70,808	94.6
営 業 収 益	1,101,659	1,098,958		2,701	100.2
営 業 外 収 益	135,871	209,380	△	73,509	64.9
工業用水道事業費用	1,019,361	1,078,257	△	58,896	94.5
営 業 費 用	994,749	971,310		23,439	102.4
営 業 外 費 用	6,532	91,744	△	85,212	7.1
特 別 損 失	18,080	15,203		2,877	118.9
当 年 度 純 利 益	218,169	230,081	△	11,912	94.8

②財務状況

平成 29 年度末の総資産は、前年度より 60,883 千円 (0.4%) 減少して 13,901,268 千円、また、負債は 279,052 千円 (9.0%) 減少して 2,823,941 千円となり、資本は 218,169 千円 (2.0%) 増加して 11,077,327 千円となりました。

●比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 お よ び 資 本 の 部			
科 目	平成 29 年度 決 算 額	平成 28 年度 決 算 額	比較増減	科 目	平成 29 年度 決 算 額	平成 28 年度 決 算 額	比較増減
固定資産	8,532,095	9,085,921	△ 553,826	固定負債	785,091	1,017,585	△ 232,494
流動資産	5,369,173	4,876,230	492,943	流動負債	226,635	212,934	13,701
				繰上収益	1,812,215	1,872,474	△ 60,259
				負債合計	2,823,941	3,102,993	△ 279,052
				資本金	8,866,095	8,789,511	76,584
				剰余金	2,211,232	2,069,647	141,585
				資本合計	11,077,327	10,859,158	218,169
合 計	13,901,268	13,962,151	△ 60,883	合 計	13,901,268	13,962,151	△ 60,883

③企業債の状況

平成 30 年 3 月 31 日現在の企業債の現在高は 216,135 千円です。

(3) 平成30年度の事業および予算の概要

工業用水の安定的な供給を通じて本県の工業振興に寄与するため、本年度は57事業所に1日平均49,926 m³の工業用水を供給する予定としています。

彦根工業用水道事業については、高区配水池送水本管管路調査設計業務等を行うこととしています。

南部工業用水道事業については、吉川浄水場1系沈殿池攪拌機更新工事等を行うこととしています。

○平成30年度当初予算の概要

●収益的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額	左の内訳	
			彦根	南部
工業用水道事業収益		1,248,100	228,315	1,019,785
	営業収益	1,132,636	213,323	919,313
	営業外収益	115,464	14,992	100,472
工業用水道事業費用		1,033,400	172,469	860,931
	営業費用	1,001,864	166,654	835,210
	営業外費用	31,536	5,815	25,721

●資本的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額	左の内訳	
			彦根	南部
資本的収入		130,700	2,600	128,100
	補助金	33,600	1,600	32,000
	諸収入	97,100	1,000	96,100
資本的支出		513,700	68,129	445,571
	建設改良費	478,604	68,000	410,604
	企業償還金	34,201	—	34,201
	固定資産購入費	895	129	766

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填します。